

平成29年度英語科海外ホームステイ研修報告 7月23日（日）

自然豊かなオーストラリアにふさわしく、鳥のさえずりが街中に響き渡り、さわやかな日曜日の朝を迎えました。7月は南半球では冬に当たりますが、日中は汗ばむ程の日差しの強い一日となりました。

今日はホストファミリーとの親交を深めるため、Len Fox Park という海辺の公園に生徒とファミリーが集まり一緒にバーベキューを行いました。当初の予定では朝からお昼にかけて行う予定でしたが、急遽予定が変更になり、お昼過ぎからのスタートとなりました。海外ではこのようなスケジュール変更が頻繁に起こるので、その都度柔軟に対応していく必要があります。「臨機応変」という言葉がぴったりな出来事となりました。



初日のホームステイから一夜明け、公園で友人の顔を見つけるなり、安堵の表情を浮かべ、嬉しそうに駆け寄っていく生徒の多くの姿が見られました。ファミリーとの生活が始まってたった一日ですが、それぞれの家庭で既にドラマが繰り広げられていたようです。

「家族が優しくて安心した」「沢山話しかけてくれて嬉しかった」と喜びの報告がある中で、「聞き取れずに委縮してしまい、わからないまま Yes と返事をしてしまった」「何をどう伝えていいのかわからない」「家族の輪の中に入っていけない」など、早速壁にぶつかる生徒がほとんどのようです。

その中でも目立ったのは、家族に迷惑がかかるのではという不安から起こる遠慮しがちな生徒の行動でした。また、数名のファミリーからも「部屋にすぐ戻ってしまうけど、大丈夫かしら？」「わからない事があればいつでも言って欲しい」と生徒を心配する相談を受け、どの家族からも“Don't be shy.” というフレーズが飛び出しました。日本では「謙虚さ」や「遠慮」が美徳とされていますが、海外では「自己主張」や「積極性」が求められます。研修の早い段階でこの文化の違いを経験できたのは、とても良いことだと思います。言葉の壁はもちろんありますが、これからファミリーとより良い関係を築いていくためには、自らアクションを起こすしかありません。トライ&エラーを繰り返し、もともと礼儀正しい郡高生が、自分の殻を破り、よい意味で図々しく、自分をアピールするスパイスを加えていってくれればと感じました。

バーベキューでは、大きなホットドックを頬張りながら談笑するグループ、ホストブラザーとサッカーをするグループなど、それぞれが思い思いの時間を過ごし、ゆったりとしたオーストラリアの休日を満喫しました。明日からはいよいよ、ホストスクール Livingstone Christian College でのプログラムが本格的にスタートします。



長いようであつという間に過ぎていく現地での残り 10 日間、勇気を持って行動を起こし、小さな成功に彩られた研修になるよう期待します。